

## 第15回奈良県知事との政策懇談会報告

日 時：2015年9月8日（火）16:30～18:00

場 所：奈良労働会館 3階大会議室

〈出席者〉

連合奈良：小山会長、木村・阪田・大西・高榮・山本・山原 各副会長、竹平事務局長  
咽原・水野・舛田各副事務局長、松尾高退協会長、吉村女性委員会委員長、  
桐木県職労委員長

奈良 県：荒井知事、森田産業雇用振興部長、石井産業雇用  
振興部次長、村上県土マネジメント部次長、元田  
雇用労政課長、國石雇用労政課主幹、森口地域交  
通課課長補佐、坂口雇用労政課課長補佐、城家雇  
用労政課主任企画員、廣原雇用労政課課長、江上  
雇用労政課主査、久保雇用労政課主任主事



議 題：（1）働き方改善について

（2）奈良県地域公共交通について（連合奈良からの提言）

〈内 容〉森田産業雇用振興部長から就業構造基本調査、賃金構造基本統計調査等から奈良県の労働時間は、常勤の女性雇用者の割合が低いことが正規社員の割合を高くする要因の一つでもある。また、雇用者に占める常勤者の低いことや、非常勤者のうち年間就業日数が少ない者の割合が高いことで総労働時間が低くなっていると考えられると分析された。今後、奈良県として働き方改善調査研究事業においてアンケート調査を、事業主と従業員に対して実施し調査分析し改善を進めたいと説明された。



連合奈良からは、「期間の定めない直接雇用」「長時間・過重労働による健康不安」「ワークライフバランス」「労働時間短縮」など連合の重点政策を説明し、県とともに「働き方のシンポジウム」など学習会の開催を提案した。知事からは、一緒に勉強して良い方向に進めて行きましょうと述べられた。連合奈良からの提言として、連合奈良 交通運輸部門連絡会の大西委員長から、①まちづくりと連携した交通網の構築について②モビリティ・マネジメントの促進策について③適正な運行コストの設定について提言を行った。



知事からは、接続点になるバス停を公共施設として作れないか、各病院・各施設など公的施設を循環する、特定バスとして考えられる。この政策提言を受けて相談しながら内部で検討してフォローさせて頂きたいと述べられた。